

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和元年度取組結果】

団体名	ひびき灘開発 株式会社
-----	-------------

所管課	港湾空港局 総務課
-----	-----------

団体に対するミッション
<p>会社の設立目的である廃棄物処理事業を通じた市民生活、企業の産業活動支援を長期安定的に継続する。</p> <p>また、市と連携を図りながら、ひびきコンテナターミナル後背地の特性を生かした、土地の利活用を推進する。</p> <p>さらには、これまでに培ったノウハウ（技術）の活用や、環境首都を目指す市の環境政策と連動した、資源循環・次世代エネルギー事業等への参画などを通して、響灘地区を中心とした北九州市の活性化に寄与する。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>平成21年度からの5カ年計画に基づき、長期安定的な廃棄物処分場の確保、港湾・物流機能の活性化、北九州市及び地域発展の貢献、経営体制の強化と自立した組織運営を基本方針として事業を遂行しており、引き続き、長期的に健全な経営を維持するよう取り組む。</p>

ミッションに基づく中期計画

3～5年後に目指す状態	主事業である産業廃棄物処理事業について、搬入量の安定的確保により健全経営を維持する。また、土地利活用の推進や新規事業の創造により、収益構造の強化と発展を目指す。							
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H27	H28	H29	H30	R1		R2	R3
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
廃棄物搬入量の確保	26万 トン	26万 トン	23万 トン	24万 トン	21万 トン	37万 トン	19万 トン	18万 トン
分譲地の売却及び賃貸	3,623 万円	10,503 万円	4,830 万円	6,298 万円	16,000 万円	22,758 万円	16,000 万円	16,000 万円

ミッションの遂行状況の評価（令和元年度）

団体における評価	<p>主力である廃棄物処理事業においては、排出企業の事業再編等により減少傾向は続いているものの、株主からのスポット案件により目標値を上回った。土地分譲については7,800㎡の分譲契約が成立し、目標値を達成した。</p>	市の評価	<p>令和元年度の実績においては、廃棄物搬入量は、目標値を大幅に上回っており、土地分譲等についても目標値を達成していることから、企業の産業活動支援及び土地の利活用に貢献していると評価できる。</p>
今後の課題及び見直し内容（案）	<p>廃棄物処理事業については営業強化による処理収入の確保と永続的な経費の削減に努め、分譲地については風力発電事業のサプライヤー等の動向に注視し、北九州市との連携のもと分譲・賃貸の利活用を図る。</p>	団体への改善指導内容（案）	<p>引き続き、積極的な営業活動を行っていくことで、産業廃棄物の搬入量を安定的に確保することが必要である。市との連携を強化し、分譲地の売却・賃貸を押し進めるよう指導していく。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	－
<p>今後も産業廃棄物の搬入量は減少が予想される中で、安定的な収入の確保に向けた営業強化及び経費削減に取り組んでいるところである。また、市の政策である『響灘地区におけるエネルギー関連政策の拠点化形成』と連携した企業誘致活動を行うことで、長期的な健全経営維持に取り組んでいる。</p>	